

地域に求められる商工会女性部へ!!

～商工会女性部長研修会～

こんにちは

大分県商工会女性部連合会ニュース
第60号
平成20年3月31日
発行
大分県商工会女性部連合会
大分市金池町3-1-64
☎097(534)9507



藤田剛 塾生の発表を真剣に聴く参加者

大分県商工会女性部連合会(秦勝子会長)は、三月十八日、大分市内で女性部長研修会を開催しました。研修会では、まず、本年度青年部・女性部地域リーダー育成塾に取り組んだ塾生らによる成果発表を行いました。3ブロックの代表者(発表内容は下表)がスライドを使い、自分たちが地域リーダーとして真剣に学び、ワークショップを重ねながら、実践活動に至るまでの経緯を報告。そして、今後はこの塾で学んだノウハウを地域で活かし、女性部活動の中で実践していくためには、部員たちの協力が必要であることを、各部長に理解と支援を求めました。塾生たちが学んだ地域づくりの手法は、きつとこれからの女性部組織を元気にするものと確信しています。

続いて、今回の地域リーダー育成塾のコーディネーターである、フリーライターの森千鶴子氏が「これからの商工会女性部に求められる地域づくり」と題し講演。地域にあるものを活か

11年間で180台寄贈

～車いす募金活動～



寄贈した車いすは十一年間で百八十台、募金額は六百七十五万六千六百八円となりました。募金にご協力いただいた部員の方は延べ二万四千四百八十七人になります。県女性連では、今後もやさしいまちづくりの実現を目指し地域社会に貢献していきたいと考えています。



日出町立川崎小学校にて

県女性連(会長秦勝子・部員一九七〇人)は、「私たちにもできる福祉活動」をスローガンに平成九年度から「車いす募金活動」を継続してきました。今年度も、県内十五の小中学校や福祉施設等に、県女性連役員と寄贈先の地元女性部長が出席し贈呈しました。年々福祉に対するニーズが高まる中、特に小中学校では車いすの保有台数は十分ではなく、先生方をはじめ、生徒にも大変喜ばれました。

■19年度車いす寄贈商工会及び寄贈先名

ブロック名	商工会名	寄贈先名
県北A	耶馬溪町	社会福祉法人もみじ会
	香々地町	豊後高田市立香々地小学校
	三光	中津市社会福祉協議会
県北B	国見町	国東市社会福祉協議会
	安岐町	安岐町社会福祉協議会
	日出町	日出町立川崎小学校
久大	中津江村	日田市社会福祉協議会中津江支所
	大山町	しおじ苑生活福祉センター
	玖珠町	玖珠町社会福祉協議会
豊肥	大野町	豊後大野市立大野中学校
	三重町	豊後大野市立菅尾小学校
	犬飼町	(株)KENKOH
県南	佐伯市弥生	弥生文化会館
	佐伯市鶴見	佐伯市社会福祉協議会鶴見支部
	佐伯市米津	佐伯市社会福祉協議会米津支部



広瀬知事

「広瀬知事を囲む商工会女性部懇談会を一月二十一日、別府市内のホテルで開催しました(県女性連理事ら約三十名参加)。本事業は広瀬知事から、各女性部及び県女性連の事業活動についてご理解とアドバイスをいただき、今後の商工会女性部の更なる飛躍と地域の発展・活性化を図ることを目的に一昨年から実施しております。懇談会では、本年度青年部・女性部地域活力増進事業に取り組んでいる、三商工会女性部の代表が報告(内容は左下表)。その後の知事の講話では、「女性ならではの発想で、地域づくりに真剣に取り組んでいる姿に感動した。これからの活躍に大いに期待している」と温かく力強い激励のお言葉をいただきました。参加者一同の志気も高まり、今後の女性部活動の励みになりました。

地域づくりに取り組む姿に感動!

～知事との懇談会～



事業報告する女性部代表 (右から県北ブロック山国町、県央ブロック天瀬町、県南ブロック佐伯市蒲江)

▼事業報告内容

- 「県北ブロック」 山国町 「万葉の里やまくに、魅力ある街づくりを目指して」
- 「県央ブロック」 天瀬町 「住民との花いっぱい運動による景観づくり」
- 「県南ブロック」 佐伯市蒲江 「河内手打ちうどんの復活と地域おこし」

▶▶ 商工会合併状況一覧 ◀◀

ブロック	商工会名 (H20.4)	旧商工会名
県北	中津市しもげ	山 国 町
		耶 馬 溪 町
		本 耶 馬 溪 町
	宇 佐 両 院	三 光 院 内 町
		安 心 院 町
	香 々 地 町	
	真 玉 町	
	姫 島 村 町	
	国 見 町	
	国 東 町	
武 蔵 町		
安 岐 町		
杵 築 市 日 出 町		
県央	日 田 地 区	中 津 江 村 上 津 江 村
		大 山 町
		天 瀬 町
	玖 珠 町	
	九 重 町	
	湯 布 院 町	
県南	九州アルプス	荻 町
		久 住 町
		直 入 町
		朝 地 町
		大 野 町
	豊後大野市	清 川 村
		三 重 町
		犬 飼 町
	野 津 町	
	佐伯市番匠	佐 伯 市 弥 生
佐 伯 市 本 匠		
佐 伯 市 宇 目		
佐 伯 市 直 川		
佐 伯 市 鶴 見		
佐伯市あまべ	佐 伯 市 米 津	
	佐 伯 市 蒲 江	
	佐 伯 市 上 浦	

情報アラカルト

平成20年度 各種検定試験のお知らせ

【全国商工会珠算検定】			
回数	申込受付開始日	応募締切日	試験日
第149回	4月17日(木)	5月16日(金)	6月17日(第3日曜)
第150回	7月17日(木)	8月22日(金)	9月16日(第3日曜)
第151回	9月18日(木)	10月17日(金)	11月18日(第3日曜)
第152回	12月11日(木)	平成21年1月16日(金)	平成21年2月15日(第3日曜)

【商工会連合会簿記検定】			
回数	申込受付開始日	応募締切日	試験日
3級	10月7日(火)	11月4日(火)	12月5日(第1金曜)



アパイヤ

印堂



～花粉症に効くツボ編～

特に「鼻詰まりと目のかゆみ」にはオススメです。眉と眉の中間を親指でゆっくり押し回すように20回。



又歩行者の高齢化や高齢者運転者も多くなっています。飲酒運転は絶対しない。シートベルトの着用はあたりまえ。歩行者や高齢者に対するおもいやりを心がけ耶馬溪町商工会女性部は街頭を続けていきます。

おこさずあわず事故ゼロ 県北A 耶馬溪町商工会女性部 福岡での幼くない兄弟が交通事故の犠牲になったことからいつそう交通安全の意識が高まった。耶馬溪町商工会女性部では、人も車も早めの合図、スローガンの手づくり横断幕で夏、秋、年末三回で街頭活動の実施。おそろいのTシャツ大分国体めじろん君も一緒に！ 国道212号線沿いでは、車の量も多く、又歩行者の高齢化や高齢者運転者も多くなっています。飲酒運転は絶対しない。シートベルトの着用はあたりまえ。歩行者や高齢者に対するおもいやりを心がけ耶馬溪町商工会女性部は街頭を続けていきます。

BLOCK INFORMATION

だぶどロック

県北B

県南

杵築ひいなめぐりはじまる

第七回ひいなめぐり(二月九日～三月九日)が今年もはじまりました。私達、商工会女性部は、杵築会場と山香会場の二会場を担当しました。



今年は竹と和紙をテーマにして飾ってみました。古いのは、江戸末期のおひな様から現代の可愛いおひな様まで、趣向を凝らして飾っております。毎年、県内外より見学に来られて「わあー、すごい、素晴らしい」と賞賛の言葉をいただいております。 杵築会場ではぜんざいや抹茶、山香会場では甘酒、お茶、茶菓子のサービス等、ひいなめぐりの期間中、部員交代で頑張っております。

久大 湯布院町商工会女性部

「おかみさん虎の巻」に学ぶ 富山県城端商工会女性部を研修

湯布院町商工会女性部では、青年部・女性部地域活力増進事業をもとに商店街活性化の一助とするための「商店街お宝・見どころマップ」の作成に本年度取り組みましたが、今後の活用方法の参考にしようと、先進地である富山県南砺市の城端商工会女性部を研修しました。 部員たちは、最初に、ポランテアガイドさんの案内で商店街を見て廻り、平成十年から取組まれたマップが、今では商店街共通の包装紙や店のランチョンマットなどに幅広く活用されていることや「女将さん虎の巻」が小中学校で、子供たちが地元を知るための教材として利用されていることに感心していました。 このあと、川平元部長さん、沼口、山下両副部長さんとの交流会を行い、おかみさん虎の巻を作成するに至った経緯やその後の取組みの状況など詳しい説明を受けました。 女性部は、来年度以降も引き続いて商店街マップの幅広い活用方法を検討していくこととしており、今回研修した城端商工会女性部の取組みは大変良い手本となりました。



県南 佐伯市宇目商工会女性部

第一回うめ観光祭

十一月二十五日に、今年度新発足した「佐伯市観光協会宇目支部」の、設立後最初のイベントである「第一回うめ観光祭」が道の駅「うめ」で開催されました。私ども佐伯市宇目商工会女性部は、この観光祭に協賛し、青年部と合同で、杵つき餅の実演即売を行いました。二〇キロついた餅はあっという間に売り切れ、来場者に変化好評でした。



豊肥 犬飼町商工会女性部

交通安全街頭指導

十一月七日秋空の屋下がり、揃いのショッキングピンクのジャンパーに身を包んだ女性部員と女性職員九名が地域ケア事業の一環として「交通安全街頭指導」を行いました。突然現れたピンクのおばちゃん軍団に少しビックリした様子の小学生でしたが、私達が「おかえり」や「気をつけて帰りよえ」など声を掛けるとちよつとはずかしそうにテレた様子で元気に「たいまま」や「おばちゃん何しよん」と微笑みながら下校する子供たちの姿に心が癒されました。 少子高齢化社会と呼ばれる現在で、当町でも年々子供達の数が減少しています。 これからも、こんなかわい子子供達がこの町が好き「犬飼町っていいね」って思える町づくりをしなければならぬ、私達女性部も関わって行きたいと思えます。 三十分ほど短い時間でしたが、心がホッと温かく、時々スーッと吹く風がとても気持ち良いひとときでした。

